

はぐくむ光のびる若芽

260

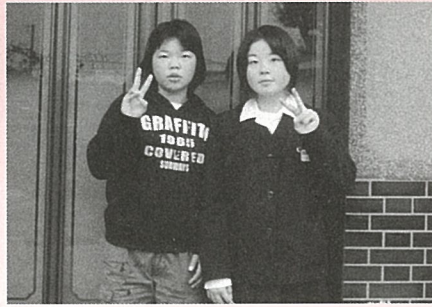
台 大木 昭子

小学校の三二集会で、接することの少ない他学年の保護者の方々と「生活リズム」について話し合いました。

ほとんどの家庭には子どもたちが自由に見られるテレビがあり、夕方は塾やスポーツ教室に通い、夜型の生活にどんどん変化しているのが現実のようです。

我が家も気がつけば、中学生の長女の夜型のペースに合わせようとした。寝る時間が10時過ぎになり、時には12時近くになることもありま

子育ては、親育て



には、まず、親が変わる事だと思えます。親自らがよい方向に変われば、子どもはよりよい方向に変わっていく、当たり前な事を再確認できました。良い習慣は、親が手本になるよう努力しないと身につかないのかも知れ

ません。

振り返れば、危険な包丁を保育園のころから使っていたので、姉妹ともなかなかの包丁さばきです。特に二女はカツオ、イナダなど一匹を、一人でよろし刺身してくれます。主人の両親が「上手にできたね。おいしいよ。」と褒めてくれるたびに喜

んで手伝ってくれます。包丁に興味を持ち始めたときにチャレンジさせてきたことが、結果となつたようです。

「あいさつ」もその一つで、お客さんが見えたときには、必ず出てあいさつをさせるようにしてきました。子どもを連れてよそのお宅を訪問したときにも車の中でよく話していききました。すると、いつの間にか身につけていて、いろいろな人にあいさつをする子どもに育っていました。

小さな事が積み重なり、最後までやり抜く力と達成感の自信を身生えさせ、自立の手助けになったかなと自己満足しています。

しかし、時には親の気持ちを押しつけ過ぎて、子どものイライラを爆発させてしまい、後から反省する、そんなことの繰り返しです。まだまだ続く長い子育てを先生や地域の方、家族が協力し合いながら、親子共にもっと成長していきたいです。

今月の顔 シリーズ 92

健康の秘訣



羽山さん親子



伊藤さん親子

今月は、お子さんを病気から守るため、予防接種を受けに早くから会場に来られた羽山侑里ちゃん（8か月）と伊藤壹耕ちゃん（7か月）の2組の親子に話を伺いました。

◎予防接種で抵抗力をつける

子どもは成長するまでにたくさんの病気にかかります。大抵は軽くてすみますが、中には重い症状が現れたり、後遺症が心配されたりと、命にかかわるような怖い病気もあります。

「ポリオ」や「麻しん」のような感染症の原因となるウイルスや、細菌が作り出す毒素の力を弱めて予防

づくりには欠かせないものと思っています。」とのことでした。

また、「雰囲気がよく、他のお子さんとふれあいが出てよかったです。」「イスを用意していただいているので、子どもを抱いても助かります。」という意見もありました。

現在、保健センターは一部改修工事のため、町民会館を使用しています。該当者の方には大変ご迷惑をおかけしています。

◎合併後の予防接種事業について要望は？

合併後の予防接種に対する要望を伺ったところ、「今までのように通知していただけたらありがたいと思います。」「個人通知があると忘れないので安心です。」とのことでした。

子育てなどに毎日忙しく過ごされている保護者が、忘れず接種ができるように今後も、個人通知や広報紙を活用してお知らせをしていきます。

◎予防接種の感想は？
「お子さんにとって予防接種とは」と、伺ったところ、2組とも「子どもにとって病気を予防するために必要なもので、子どもの健康

（看護師 栗田）